

平成22年度 メディカルバレー フォーラム ～健康と運動～ 開催報告



平成22年9月1日にプラザ洞津(津市)において、平成22年度のメディカルバレーフォーラムが開催されました。今回は、「健康と運動」をテーマとし、右記の講演会を実施しました。本フォーラムでは、医療・健康・福祉産業に関する三重県内外の関係者165人が一堂に会し、講演会の後も、有元・宮地両講師を交えた交流会で活発に意見交換をしました。



講演

1

これからの健康産業の可能性



講師／有元 裕美子氏
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
研究開発第1部 副主任研究員

健康関連市場の概要(市場規模、ターゲットとされる消費者層)、健康産業における顧客層のニーズや課題、今後健康ビジネスの拡大が見込める市場について、多方面から詳しく説明頂きました。同社が行った消費者向けの独自アンケート調査では、健康産業利用の理由に、「健康意識が高い」、「自然志向(オーガニック志向)が高い」などのほかにも、「信じやすい」などがあげられている点が非常に興味深いものでした。

講演

2

健康づくりのための運動・身体活動



講師／宮地 元彦氏
独立行政法人国立健康・栄養研究所
運動ガイドラインプロジェクトリーダー

WiiFitの開発に携わった同氏は、身体活動の現状とエクササイズガイドについて詳細に解説、身体活動の重要性や歩数計の有用性をいかに市民の行動変容に繋げていくかを、ご自身の経験を交えて紹介して頂きました。また、日常生活の中でどれだけ体を動かす機会があり、それをどうすれば「健康」につながるのかについては、参加者とのコミュニケーションをとりながら、分かりやすく、楽しくお話し頂きました。